

シンポジウム みんなで作る 地震津波防災



静岡国立大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



NaDir

東日本大震災の時、あなたは何をして過ごし、何を考えたか思い出せますか？
あなたや家族に必ず来る南海トラフ地震。その「国難」への防災が猛烈な勢いで進歩しています。
地震が起きる可能性をお知らせする発表が国から出ることになり、
静岡に迫り来る津波の様子をリアルタイムで予測する研究が始まっています。
地元でも地震や津波に強くなる様に生活の仕組みが変わりつつあるのをご存知ですか。
地震が起きてから「もっと準備ができたのに」と思うのでは遅いと
皆さん気づいているはずですよね。
だからこそ、今、静岡に住む私たちで、今の防災を知って
行動するきっかけをつくりませんか？

開催日時 令和6年1月13日(土)
13:00~15:30(12:30開場)

会場の御案内 (定員:100名)

●会場：清水マリニビル 7F 展示室

〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-25

【お車で越しの方】

東名清水I.Cより臨海道路経由15分。お車で越しの際は、「清水マリニパーキング(県営 日の出駐車場)」をご利用下さい。

【公共交通機関をご利用の方】

JR清水駅または静岡鉄道新清水駅下車、しずてつジャストライン 三保山の路線「波止場・フェルケール博物館」バス停下車施設まで徒歩3~5分



プログラム (敬称略)

開会あいさつ

文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査研究企画官 佐藤 壮紀

趣旨説明

静岡県立大学グローバル地域センター特任教授 楠城 一嘉

講演 1 南海トラフ地震臨時情報とは何だろう？

気象庁静岡地方気象台南海トラフ地震防災官 石川 聡

講演 2 迫り来る津波の様子を予測すると防災に役立つの？

防災科学技術研究所上席研究員 高橋 成実

講演 3 静岡発!宇宙から地震と津波を予測する研究

静岡県立大学グローバル地域センター特任教授 鴨川 仁

講演 4 南海トラフ地震に備えて病院はどんなことをやっているの? -最新事例と今後の展開-

JA静岡厚生連 清水厚生病院副院長 成島 道樹

パネルディスカッション

みんなで地震津波防災?何が出来る?

コーディネーター 静岡県立大学グローバル地域センター特任教授 楠城 一嘉
登壇者 気象庁静岡地方気象台南海トラフ地震防災官 石川 聡
防災科学技術研究所上席研究員 高橋 成実
静岡県立大学グローバル地域センター特任教授 鴨川 仁
JA静岡厚生連 清水厚生病院副院長 成島 道樹
静岡県清水港管理局技監兼企画整備課長 深津 幸宏
静岡市危機管理総室主幹兼係長 杉村 晃一

参加料
無料

要・事前申込

申込方法

裏面の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記二次元コードからもお申込みいただけます。



申込期限

令和6年1月10日(水) 17:00

みんなで作る地震津波防災

プロフィール (五十音順)



気象庁マスコットキャラクター「はれるん」

石川 聡 (いしかわ さとし)

気象庁静岡地方気象台南海トラフ地震防災官。2008年4月仙台管区気象台採用、その後、仙台航空測候所、気象庁本庁、新潟地方気象台等に勤務し、2023年10月から現職。現在、地震津波防災情報の利用の促進と関係機関との連絡調整に従事。



成島 道樹 (なるしま みちき)

JA静岡厚生連 清水厚生病院副院長。一般社団法人 静岡市清水医師会理事。博士(医学)。外科医・総合診療医として、メディカルスタッフとのチームワークを大切にしながら地域医療に携わる。医療・介護・福祉の連携活動に積極的に関わることで「自分らしく生きる」ことができる地域づくりを目指している。南海トラフ地震に備え医療従事者に対する講演にも取り組んでいる。



鴨川 仁 (かもがわ まさし)

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門特任教授。博士(理学)。専門は大気電気学、自然災害科学。NPO法人富士山測候所を活用する会事務理事・事務局長、NPO法人宇宙工学コンソーシアム理事などを務める。NHKプラタモリにも専門家として出演し、巧妙な解析が評判を呼んだ。主な著書に「雷の疑問(共著)」(成山堂書店)がある。



楠城 一嘉 (なんじょう かずよし)

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門特任教授。博士(理学)。専門は地球科学、地震学。文部科学省「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」に参加。同プロジェクトの趣旨を鑑みて本シンポジウムを企画した。主な著書に「地震と火山と防災のはなし(編著)」(成山堂書店)がある。



高橋 成実 (たかはし なるみ)

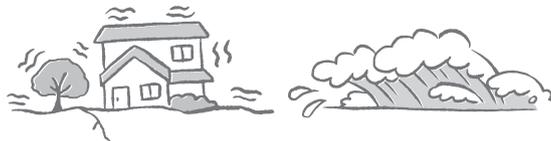
防災科学技術研究所上席研究員・南海トラフ海底地震津波観測網整備推進本部副本部長。海洋研究開発機構上席研究員としてクロスアポイントメント。博士(理学)。文部科学省「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」の課題「創成情報発信研究」の代表も務める。海底観測網の開発や即時津波予測の研究に従事。



清水港マスコットキャラクター「しみずきんちゃん」

深津 幸宏 (ふかつ ゆきひろ)

静岡県清水港管理局技監兼企画整備課長。1994年4月静岡県に土木職として採用、その後、県内土木事務所及び本庁に勤務し、道路、河川、砂防、港湾事業の計画・設計・工事監督業務に従事するとともに、2020年4月より清水港管理局に配属、本年4月より現職。現在、清水港の港湾事業、海岸事業についての企画調整に従事。



シンポジウム みんなで作る地震津波防災 (1月13日)

会場参加申込書

下記の申込書に必要な事項をご記入のうえ、1月10日(水)17:00までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

FAX: 054-245-5603

TEL: 054-245-5600 ● <https://www.global-center.jp>
E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ氏名			
会社・団体名			
御住所	〒	TEL:	FAX:
	ご勤務先 ・ ご自宅 ○をお付けください。		
Eメールアドレス			
今後、当センターからの講演会の案内を	希望する ・ 希望しない		

*FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内に使用いたします。